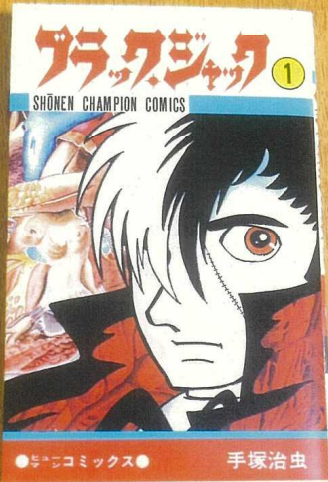


環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



手塚治虫著
「ブラッパシヤック」
手塚は年長の夢で、あるアニメーション制作に乗り出し、昭和37年、虫プロダクションを設立した。しかし、昭和48年に倒産、巨額の負債と精神的な打撃を抱え込む。少年誌から遠ざかり、倒産の社会的責任も強く感じていた手塚さんは漫画家生命は終

わたと自覚されたかも知れません。そんなときに少年チャンピオンから読み切りの短編で475回の連載という依頼があった。手塚治虫後期の傑作。無免許だが天才的な腕をもつ主人公、ブラスチックが闘わる生と死のドラマ。

毎回読み切りの連作で鮮やかに描き、少年誌の作者の完全復活を遂げた記念碑的作品と云う。安楽死など、現代の医療が抱えるテーマを鮮明に浮かび上がらせ、人間味あふれる作風は、いまも色あせず、現在も同作に構想

を得た作品が描かれるなど、生涯にわたる代表作のひとつともなった。



代表作「ゴルゴ13」の生みの親、ざいとうたかをレ、科学文明は人間をダメにする。日本は江戸中期に戻るのが一番です。作家としての願いを言えば、これまでの大人向けの劇画路線から思い切り遠脱して落し、希望にありふれた「ドラえもん」のような作品を手掛けて



石ノ森章太郎 サイボーグ009
昭和39年に「少年キング」で連載が始まり、少年マガジンなど掲載誌をまたで、昭和55年まで長期連載された石ノ森章太郎の代表作。未来戦用に開発された島村ジョーほか9人のサイボーグが戦争や差別という根源的な悪と戦う長篇SF漫画。人種や民族の異なるサイボーグが敵との戦いを描く戦隊ものであるとともに、ベトナムや中東の舞臺に、同時代の先鋭的なテーマにも果敢に取り組んだ。テレビや映画で人気を呼んだ。

からだ、それが密かな夢なんです。ゴルゴの背丈がらみです。

